

令和7年1月吉日
千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会
千葉県 CKD 重症化予防対策部会
千葉県医師会

千葉県医師会会員の先生方

千葉県糖尿病性腎症/CKD 重症化予防対策推進に関わる
検査会社への検査ワンチェックオーダー化への働きかけのお願いについて

日頃より腎疾患医療への多大なるご協力を賜り感謝申し上げます。当検討会及び部会では腎疾患重症化予防対策を効果的に推進するため協議をさせていただいており、千葉県糖尿病性腎症/CKD 重症化予防対策を推進するにあたり下記のとおり検査会社への働きかけをお願いしたくお知らせします。

何卒、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

記

腎疾患診療においては、推算糸球体濾過量（estimated glomerular filtration rate: eGFR）と尿蛋白・クレアチニン比（urinary protein creatinine ratio: UPCR）測定が、必要不可欠な検査項目となっております。一方、現状ではこれらの値の測定が進んでおらず、その原因としてオーダー時の煩雑性が指摘されております。そこで、以下のワンチェックオーダー化を提案させていただきます。

ワン
チェ
ック
オー
ダー
化

- ① 血清クレアチニン測定オーダー時には eGFR 値が自動的に報告されるようにする
- eGFR は血清クレアチニンを測定すれば、性別と年齢から計算式により算出されるものであり、追加の検査を必要とするものではありません。
- ② UPCR を検査依頼用紙のオーダー項目として追加する
- 尿蛋白濃度は尿濃縮度に影響を大きく受けるため、この値のみでの臨床的な情報価値はなく、尿蛋白定量値を同じ尿の尿クレアチニン値で除した UPCR 値で臨床的判断をすることが望まれています。そのため、UPCR オーダー時には尿蛋白濃度と尿クレアチニン濃度が測定され、UPCR 値も報告されることを目指します。

上記に関しまして、裏面の様式にて契約されている検査会社への御依頼をいただけますと幸いです。

自施設内で検査を実施されている場合は、施設担当部署へ御依頼ください。また、以下に算定点数例を示させていただきました。お手数をおかけいたしますが、御協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

【参考：算定点数例】

	オーダー内容	算定点数	左記のオーダーに尿のクレアチニン濃度を追加した場合（＝UPCR をオーダーした時）
例1	血液：尿素窒素（BUN）、クレアチニン（Cre） 尿：定性、蛋白定量	初診：610点 再診：358点	初診：621点 再診：358点
例2	血液：尿素窒素（BUN）、クレアチニン（Cre） 尿：定性、蛋白定量、尿沈渣	初診：637点 再診：358点	初診：648点 再診：358点

医療機関から検査会社への依頼文

検査会社

ご担当者 様

私（当施設）は、千葉県の糖尿病性腎症重症化予防対策/CKD 重症化予防対策に協力しているため、以下のご対応をお願いいたします。

- ☐ 検査報告用紙に、eGFR 値の結果を記載する欄（単位は[mL/min/1.73 m²]）を新たに設け、今後、成人例（20 歳以上）において血清クレアチニン測定をオーダーした際には、血清クレアチニン値と共に eGFR の値もご報告してください。

※計算式は日本人式 $(\text{eGFR [mL/min/1.73 m}^2\text{]} = 194 \times \text{血清 Cr (mg/dL)}^{-1.094} \times \text{年齢 (歳)}^{-0.287} [\times 0.739 \text{ if female}])$

- ☐ 検査依頼用紙に、「尿蛋白/クレアチニン比（UPCR）」という項目を新たに作成してください。依頼時には、尿蛋白濃度（mg/dL）と同じ尿検体の尿クレアチニン濃度（mg/dL）の結果をご報告いただくとともに、UPCR の結果（単位は[g/gCre]）もご報告をお願いします。

医療機関名 _____

連絡先 _____

※本様式は千葉県ホームページにも掲載しております。

右の二次元コードからもダウンロード可能です。



✂ 切り取り線 ✂